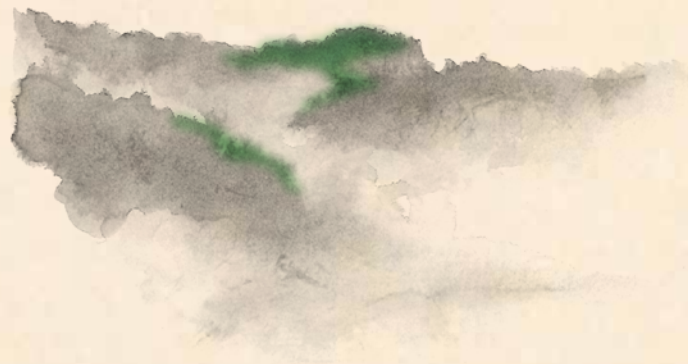


AGAMACHI GUIDE BOOK

新潟県東蒲原郡 阿賀町 ガイドブック 2023



発行／阿賀町 まちづくり観光課 まちづくり・定住係
〒959-4495 新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地
TEL 0254-92-4766 FAX 0254-92-5479
E-MAIL machi-teiju@town.aga.lg.jp

に 山
く 河
ら の
す 里



【阿賀町】



阿賀町長
神田 一秋

今日より明日！ 若者が残れるまちづくり！

本町においては、急激な人口減少と少子高齢化が進み、それに伴う空き家の増加、定住対策など様々な課題が山積しています。

こうしたなか「豊かな自然 かがやく文化 みんなで築く安心のまち」の実現に向け、子育て世代への支援をはじめ、雇用、教育環境の充実、自然を活用した産業の振興、また、デジタル技術の活用も積極的に取り入れながら、施策を展開しています。

これからも、「若者が残れる町へ」をスローガンに掲げ、住み続けてよかったと実感のできる魅力的で持続可能なまちづくりに邁進してまいります。



町章

町章は「包み込む緑の腕が
明るいまちや輝く文化を支え、
輝いている様子」を表現しています。



町の鳥「ウグイス」

早春から盛夏にかけて鳴くことから「春告鳥」とも呼ばれ、冬に終わりを告げ春の息吹を感じられる美しい鳴き声が、多くの町民の皆さんに親しまれています。



町の花「ユキツバキ」

長い風雪に耐え、やがて美しく力強く咲き始める花の姿と生命力が、未来の阿賀町のイメージと重なります。



町の木「スギ」

多くの自然を有する阿賀町において、ひととき天高くそびえる「スギ」。また、町内にはスギの巨木日本一で有名な「將軍杉」もあり、町のシンボルとなる木です。

4つのエリアからなる 風光明媚な山河の里

新潟県の東部に位置する阿賀町はかつて福島県(会津藩)に属していたことから、全国的にも珍しい「両属の地」として会津と越後双方の歴史と文化が垣間見える町です。
飯豊山や御神楽岳を代表とする多くの山々と豊富な森林資源、そして大河・阿賀野川と清流・常浪川の流れに恵まれた、美しい山河の里です。



※阿賀町は2005年(平成17年)に新潟県の東部に位置する東蒲原郡4つの町村、津川町・鹿瀬町・上川村・三川村の合併により誕生しました。

JRをご利用の場合



お車をご利用の場合



数字でみる「阿賀町」
広大な山間地に多くの集落が点在する
阿賀町の「今」がわかる統計資料です。

面積
952.89 km²

新潟県で3番目に
大きい自治体です

■地目別面積（単位：ha）

区分	総計	合計 95,289.0
田	1,272.9	
畑	791.1	
宅地	388.1	
山林	26,411.1	
原野	919.2	
その他	65,506.6	

資料：町民生活課調べ（令和5年1月1日現在）

■4地域の人口および世帯数

	総人口			総世帯数
	計	男	女	
津川地域	3,332	1,623	1,709	1,531
鹿瀬地域	1,554	735	819	810
上川地域	1,976	969	1,007	839
三川地域	2,641	1,308	1,333	1,116
合計	9,503	4,635	4,868	4,296

資料：町民生活課調べ（令和5年8月31日現在）

人口
9,503人

※令和5年8月31日現在

■産業別就業者人口

	分類	人数
第1次産業	農業	320
	林業	35
	漁業	1
	計	356
	割合（％）	8.0
第2次産業	鉱業	15
	建設業	650
	製造業	750
	計	1,415
	割合（％）	31.7
第3次産業	電気・ガス・熱・水道業	11
	情報通信・運輸業	213
	卸・小売業	468
	金融・保険業	43
	不動産・物品賃貸業	16
	複合サービス・サービス業等	776
	医療・福祉・教育・学習支援業	810
	公務	338
	計	2,675
	割合（％）	59.8
	分類不能	23
分類不能	割合（％）	0.5
	総数	4,469

資料：令和2年国勢調査



■町内保育園の園児数

	定員	園児数	職員数
ひまわり保育園	120	72	25
上条保育園	60	22	10
わかば保育園	120	53	21

資料：こども・健康推進課調べ（令和5年8月31日現在）

■男女年齢階級別人口

	男	女	計
0～4	78	67	145
5～9	90	87	177
10～14	131	102	233
15～19	182	152	334
20～24	167	128	295
25～29	136	126	262
30～34	137	101	238
35～39	162	132	294
40～44	185	167	352
45～49	262	243	505
50～54	299	251	550
55～59	327	304	631
60～64	409	304	713
65～69	431	372	803
70～74	557	509	1,066
75～79	382	381	763
80～84	298	492	790
85～89	262	511	773
90歳以上	140	439	579
合計			9,503

資料：町民生活課調べ（令和5年8月31日現在）

■町内学校の児童・生徒数

	学級数	児童生徒数	教職員数
津川小学校	9	111	26
上川小学校	6	49	17
三川小学校	8	80	22
阿賀津川中学校	7	108	24
三川中学校	5	50	20
阿賀黎明高等学校	3	46	22

資料：教育委員会調べ（令和5年5月1日現在）

新潟市内の拠点病院を回る

「阿賀町バス」
運行中!!

阿賀町内
3つの公共交通

- 町内の各集落と、医療機関等を結ぶ無料の福祉バス
- 新潟交通観光バス（株）が運行する阿賀町管内路線バス
- 阿賀町と新潟市を行き来する高速バス「阿賀町バス」

医療機関は各地区に

新潟県立津川病院

鹿瀬診療所

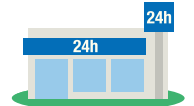
上川診療所

町営診療所みかわ

ほか民間内科、歯科診療所など

毎日のお買い物

津川地区を中心に、
郊外型大型店やコンビニエンスストアなどがあります。



清流の美しさは世界レベル

巨匠が認めた！

町の中央を阿賀野川とその支流の常浪川が流れ、古くから水上・陸上交通の要所であったという歴史ある町です。

屈指の全国イベント

町の人口が3倍に！

毎日絶景が見られます！

ビッグイベント
あります

つがわ
狐の嫁入り行列

狐火で有名な津川に伝わる、江戸時代の嫁入りを再現した結婚の儀式、狐の嫁入り行列。毎年5月3日に開催。

町の魅力を
紹介！！

阿賀町って

満喫できます

毎日アウトドアライフを

Enjoy sports!

四季折々に彩られた豊かな自然の中で暮らし、レジャースポットやスポーツ施設などが充実しています。

大人気の
阿賀野川カヌー！

パワースポットも
たくさん

町の花「雪椿」は、当町で発見・命名されました。4月中旬から5月初旬が見頃。

希少な花雪椿
発祥・発見の地

船運と街道文化が
残る雁木発祥の地

津川とんぼの通り

雪が積もっても街中を歩けるように、家々が軒からひさを長く出した「とんぼの通り」。かつての宿場町の風情が残っています。

新潟市街地まで
車で40分。
バス、JRも運行！

程よい
距離感

良い水と米があり、発酵に適した環境の阿賀町は全国ブランドの酒蔵を持つ銘酒の里。地元でつくる味噌も絶品です。

美味しいお酒に
酔いしれたい

地酒と発酵食の町

2つの酒蔵がある

町中
温泉だらけ！

泉質の異なる8つの源泉
住民は格安料金で入れる！

御神楽温泉
七福温泉
三川温泉
新三川温泉
津川温泉
麒麟山温泉
かのせ温泉
角神温泉

町民には「阿賀町湯めぐりカード」が発行され、半額以下の入浴料で日帰り温泉施設や旅館などが利用できます。

こんなところ。

豪雪です
冬はモチロン

ノスタルジックな
情景です

山間を走るSL

山の幸、川の幸が
わんさか！

阿賀町は有名な山菜の宝庫。秋はキノコに栗やクルミ、天然の川魚や川ガニも獲れます。

米どころ
隠れた極上の

町中心部の最大積雪深は平均110cm、山間部は200cm以上！除雪や雪下ろしは大変ですが、その分春の喜びは大きいのです。

大きな寒暖差を生む独特の地形と豊かな水源によってつくられるお米は、大手航空会社ファーストクラスの機内食で提供され、新潟県下トップクラスを誇る食味です！



「あがまちファンクラブ」は、阿賀町が好きな人、阿賀町にゆかりのある人、阿賀町に興味のある人のコミュニティです。会員になると、様々なサービスを受けることができます。

農業で
ひろがる未来

念願の
古民家暮らし！

風土を活かして
唯一の価値を



01

Interview
with
migrants

じねんじょづくりでひろがる未来

地域おこし協力隊としてやってきて農家になった目黒さん。独学で工夫と改良を重ね、無農薬で作る目黒さんの「奥阿賀じねんじょ」は県の品評会で1等を取り、独自ルートで一年前から予約が入るほどの人気。目黒さんが阿賀町で行う農業ビジネスは明るい希望に満ちている。

農業経営



目黒さん

<職業> 農業「目黒農園」経営
<移住日> 平成27年4月



秋のじねんじょ祭りも大人気

毎年秋に開催される「じねんじょ祭り」は、大勢の人で賑わう大人気イベント。グルメ販売も人気ですが、目黒さんのじねんじょも並んだ直売コーナーは長蛇の列です。



最高の景色の中で農作業

毎年耕作面積を増やし、改良を加える目黒さん自慢の畑。美しい山々を眺め、新渾の四季を五感で感じられる贅沢な環境で手塩にかけてじねんじょを育てています。



有名芸能人も顧客に

阿賀町のじねんじょは元々高級ブランド野菜ですが、目黒さんがつくるのはさらに別格。農協のほか、某有名芸能人や大食いタレントなどに直接販売し、毎年すぐに売り切れてしまうほどの人気です。

移住のきっかけは？

新規就農しようと農業大学校へ行こうと思っていたところ、アウトドアが好きで何度も訪れていた阿賀町で協力隊制度があるのを知り、応募しました。それから農業にすっかりハマって移住を決めました。

農業は苦勞の割に儲からないのでは？

初めは苦勞しましたが、年を重ねるごとに収穫量も増えてきました。独自の工夫を施し、正直じねんじょの旨さや品質はどこにも負けない自信があります。高値で取引できるのでちゃんと儲かりますよ。

今から農業をやりたいという人がいたら？

とてもおすすめです。やる気さえあればきちんと生計も立ちます。私の場合は地域にしっかり溶け込んで農地をお借りしています。阿賀町は耕作放棄地が多く、農業支援制度の年齢要件も町独自に緩和してサポートしてくれるので、他の市町村よりも移住就農しやすい気がします。高齢化が進み農業の担い手が減少したこの町では新規就農者にチャンスがあります。是非一緒にやりましょう！



中山間地にはチャンスがいっぱい！

移住者インタビュー

Interview with migrants

阿賀町に移住・定住している方々に、移住のきっかけ、阿賀町を選んだ理由や現在の暮らし・お仕事についてお話をいただきました。

なんにもないから、
なんでもできる？！

念願の古民家暮らしを手に入れました

新潟市から移住してきた増川さんは当時、自身が主催したアロマ教室で阿賀町を訪れ、一目惚れ。もともと描いていた理想の暮らしがここにあったそう。何度か遊びに来るうちに協力隊に入り、空き家になった古民家を利用した農家民宿をスタートさせました。今では関東から訪れる中学校の体験授業の受け入れを中心に、多くの人が訪れるようになり、大忙しの日々を送っています。



農山村の暮らしを体験！
奥阿賀体験教育旅行が
大人気！！



増川さん

<職業>農家民宿「栃堀の風」経営
<移住日>平成28年11月



美しい建具は当時のまま

増川さんがとても気に入っている美しい細工が施された建具は、今ではなかなか作れない貴重なもの。傷みもなく、この宿の自慢の一つ。



神仏と近い暮らし

この立派な神棚もそのまま。神棚だけでなく、集落の行事や、神社を地域で守ることなど、神仏が当たり前に暮らしとともに存在しています。



自然の恵、郷土の食文化

この民宿で提供される郷土料理は増川さんがこの地域で習ったもの。もちろん食材のほとんどがここで採れたものばかり！使っている会津塗の器はこの家に残されていた品だそう。

農家民宿 経営



古民家はどのようにみつけたのですか？

協力隊一年目で研修や家探しをしていたのですが、集落の方に紹介してもらいました。傷みが少なくリフォームはあまりしていません。素晴らしい古民家が運良く手に入って本当に嬉しいです。

苦労したことは？

物珍しさからか、顔合わせ会にはけっこう大勢の人が集まりました（笑）。もちろん初めは信用してもらえず、変な目でみられていたと思いますが、今では誰かが玄関に野菜を置いていってくれたりします。また、草刈

りや水路・神社の掃除といった共同作業が多く、思ったよりやる事が多くてびっくりしました。助け合って生活するというのがここでの暮らしの基本です。あとは虫が多いことですかね（笑）虫が苦手な私は慣れるまで大変でした。

この民宿ではどんな体験ができますか？

川遊びや、里山で散歩したり、ごく当たり前の集落での暮らしをそのまま体験できます。何もありませんが、美しい川や自然、郷土の食、満天の星空、静寂の夜など街にはないものがたくさんあります。

自然と暮らしを“楽しみながら” 唯一無二の価値をつくる

スロバキア出身で旅行業の仕事をしていたタモさんは、旅先で出会った阿賀町出身の奥様と結婚。お子さんの誕生とコロナをきっかけに2020年に阿賀町に移住し、夫婦二人で土地の自然風土を活かした養蜂業を始めました。阿賀町の豊かな自然と人情、古民家や耕作放棄地といった町に眠る多くの宝に恵まれ、自然体で理想のライフスタイルを実践しています。

タモさん

<職業>
養蜂業「なぜみ自然養蜂園」代表
<移住日>
令和2年4月



養蜂業 経営



阿賀町の恵みで極上の美味

自然農法のため、特定の花ではなく阿賀町の多くの花から集めた蜜（百花蜜）は芳しい香りと複雑で深みのある極上の味わい。



仕事も暮らしもほとんど自然派

自然豊かなスロバキア出身のタモさんは、食事や遊び、仕事と全てが自然体。地元の人たちにも快く受け入れられた。



自宅は良質な古民家

阿賀町には古民家や空き家がたくさん。自ら動いて声をかけることで、リフォームの必要がない良質な古民家を運よく無料（！）で入手。

なぜ阿賀町で養蜂を？

長年の夢だった養蜂業を、自然豊かな妻の故郷阿賀町で叶えようと思いました。始めるのは地域の方々の理解が必要でしたが地権者や区長さんに理解していただき、空き家となった土地などを利用してもらい巣箱を増やしています。自然に任せ養蜂なのでその土地の風土やポテンシャルが出ます。「なぜみ自然養蜂園」「なぜみ＝nazemi」はスロバキア語で土地や大地の意味を持ちます。今後はたくさんある耕作放棄地なども利用して蜂が好きな花を増やして生産量を上げ、自然農法での農作物づくりにチャレンジするつもりです。

マインドチェンジで人生を楽しむ

旅行業で各地を巡りましたが、阿賀町の自然の美しさは格別です。川と山が近いので川遊びや、ピクニック、サイクリングなど、いつでもリフレッシュできます。冬の大雪だけは皆さんと同じく私も嫌でしたが「雪板」という雪遊びのアイテムで雪が降るのが楽しみになりました。家や生活にも多くのお金がかかるものと思い込んでいましたが、家はタダで、野菜はよくもらえます。服も妻のお母さんの手作り。人生で大切なのは先入観を持たず何事も楽しむ精神（マインド）です。妻と子供と3人で大好きなここでの暮らしを楽しんでいます。

阿賀町で
働く

故郷の阿賀町に戻って働きながら暮らしたい、中山間地で起業したい、そんな方を応援します！多くの可能性を秘めた阿賀町で新しいチャレンジ、はじめてみませんか？

Uターン・リターンで
チャレンジ！

阿賀町無料職業紹介所

地域経済の活性化及び定住促進の施策として「**阿賀町無料職業紹介所**」を開設しています。なお、求人情報の紹介以外にも、就職の相談やサポート等、仕事に関する相談をお受けしています。

お問い合わせ

阿賀町まちづくり観光課 観光商工係
TEL.0254-92-4766 (直通)
FAX.0254-92-5479 (代表)
E-mail▶ kanko-shouko@town.aga.lg.jp

詳しくは
WEBサイトで



農業をはじめたい方

農地を探したい、研修受入先や農業指導員を紹介してほしい、就農支援制度について聞きたいなど、農業に関する相談をお受けします。

お問い合わせ 阿賀町農林課 農政係
TEL.0254-92-5764 (直通)

林業をはじめたい方

森林の仕事「林業」に就業したい方、林業について知りたいなど。林業に関する相談をお受けします。

お問い合わせ 阿賀町農林課 林政係
TEL.0254-92-5764 (直通)

働くあなたを応援します！



創業・起業支援 起業支援補助金

事業を行うにあたりその拠点を開設する費用、及び事業促進費で、最大300万円の事業費に対し、補助金150万円を交付します。

お問い合わせ

阿賀町まちづくり観光課 観光商工係
TEL.0254-92-4766 (直通)

町外通勤助成金

町外の企業に就職した場合、通勤距離に応じて助成金を支給します。(最大2年間、上限金額あり)

片道30km以上: 7,000円/月 片道60km以上: 15,000円/月
片道40km以上: 10,000円/月 片道80km以上: 20,000円/月

お問い合わせ

阿賀町まちづくり観光課 まちづくり・定住係
TEL.0254-92-4766 (直通)



阿賀町には多くの
“仲間”がいます！！

地方創生プロジェクト 地域おこし協力隊

都市地域から過疎地域に移住して、地域おこし支援や住民支援などの「地域協力活動」を行います。隊員は自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年以上、3年以下です。

阿賀町で地域の人と資源を 輝かせる仕事をしてみませんか

募集業務内容 ①農林水産業の振興
②地域資源(観光、特産品等)の発掘
③地域行事、コミュニティ活動
④教育の振興

お問い合わせ 阿賀町まちづくり観光課 観光商工係
TEL.0254-92-4766 (直通)

条件次第で
無償貸付可能！！

ビジネスの拠点に。空き家、空き地など
遊休施設も利用できます。

遊休施設の貸付

旧学校施設など、遊休施設を有効に活用するため、施設の利用希望者を募集しています。ご希望の方は、お問合せください。



お問い合わせ 阿賀町総務課 行政係
TEL.0254-92-3113 (直通)

阿賀町で
暮らす

理想の暮らしを
応援します。

移住するうえで最大のポイントとなる「住居」も補助金・奨励金や空き家バンクで支援。もちろん都市部より「格安」です！

阿賀町は、若者の定住とUターン・Iターンを積極的に推進するため、定住促進制度を実施しています。

移住定住促進奨励金

移住定住人口の増加を図るため、U・Iターン者の住宅に関する補助金をご用意しています。

※詳しい奨励金額や提出書類等、詳細は阿賀町移住定住促進奨励金交付要綱をご確認ください。

- 新築住宅建築奨励金 上限 70万円
- 中古住宅取得奨励金 上限 50万円
- 中古住宅改修奨励金 上限 50万円

- 賃貸住宅居住奨励金 上限 1万円
(最長24ヶ月まで)
- 新規就業助成金 一律 10万円

※U・Iターン世帯、新婚世帯、子育て世帯に加算金あり



克雪住宅整備補助金

克雪住宅を新築・増改築した方、又は克雪住宅を購入した方に対して、補助金を交付します。

【補助金額】対象工事費の50%以内
※上限50万円

※克雪住宅とは、多雪地域で屋根雪下ろしの必要がないように工夫された住宅です。

郡内産材「東蒲杉」利用住宅建築奨励事業補助金

町内産の木材「東蒲杉」の利用拡大と林業の活性化を目的とし、「東蒲杉」を利用した木造建築物建築する方に対して、補助金を交付します。

【補助金額】対象経費の30%以内 ※上限50万円

“空き家バンク”充実してます！

阿賀町では、町独自のマッチングサイトで空き家・空き地を紹介しています。お好みの物件をココから探して理想の暮らしをゲットしよう！

阿賀町は、町内全域に
光ケーブルネットワーク整備済！
安心の通信環境♪



阿賀町では、補助金・奨励金の見直しを毎年行っています。
最新の情報はこちらでご確認ください。

阿賀町で暮らそう

検索

<https://www.town.aga.niigata.jp/kurasu/index.html>



【お問い合わせ】 阿賀町まちづくり観光課 まちづくり・定住係 TEL.0254-92-4766



阿賀町で 子育て

こども達がのびのび育つ 環境が揃っています。

自然いっぱいの阿賀町
はのびのび子育てする
には最高の環境。もちろ
ん各種サポート体制で
しっかり子育てをバック
アップします。

保健・子育て



妊産婦等に対する助成

- 妊産婦健康診査費の全額助成
- 妊婦歯科健康診査
- 医療費の全額助成
- 新生児聴覚検査
- 健康診査にかかる交通費助成

子育て応援祝金

阿賀町に住所がある方（引き続き阿賀町に在住する方）が満1歳の誕生日を迎えられたとき及び小学校、中学校へ入学されたとき、お祝い金を交付します。



子ども医療費助成

生まれた日から**18歳までの医療費全額**を助成します。

町独自の保育料軽減制度

国の幼児保育無償化に加え、3歳児未満の保育料についても第2子は半額、第3子は無料としています。また、3歳児以上は副食費（おかず、おやつ代）も無料としています。

チャイルドシート 購入費補助金

阿賀町に住所がある乳幼児に対し
購入価格の**1/2**を補助します。

※1人1回限り、上限15,000円

保育園（公立認可保育園）

- ・ひまわり保育園（津川）
- ・上条保育園（上川）
- ・わかば保育園（三川）

病後児保育室

概ね2歳から小学6年生までの
病気の回復期にあるお子
さんの保育、看護を行いま

【お問い合わせ】 阿賀町こども・健康推進課 TEL.0254-92-5762

教育



小・中学校（町立）

津川小学校／上川小学校／三川小学校／
阿賀津川中学校／三川中学校

地域の小中学校では「地域学」「阿賀学」といった探求型
学習が行われ、特産品のエゴマやクルミなどを用いた授業
が行われています。

高校

県立阿賀黎明高等学校

今後の大学入試改革や変化の激しい社会情勢、拡大するグローバル環境と地域活性化や地方創生に対応し、阿賀黎明高校の更なる発展を目指すため、阿賀町と阿賀黎明高校が連携し、高校魅力化推進事業を実施しています。



ボート部は
全国大会 常連校!!

高校、大学進学者 奨学金貸付制度

（月額）
高校生：15,000円以内
大学生等：30,000円以内

阿賀町では、町内外在住の高校、大学等進学者に対して就学金貸付制度を実施しています。

阿賀町公営塾 「黎明学舎」

阿賀町と新潟県立阿賀黎明高等学校の連携によって2016年に始まった「阿賀黎明高校魅力化プロジェクト」。「黎明学舎」は、阿賀町が運営する公営塾です。「挑戦」から「実験」へ。高校生がまちの資源を活用して実験しながら自らを知り、地域と自分の未来を創っていく機会と場をつくっています。

地域おこし協力隊
メンバーも参加



【お問い合わせ】 阿賀町教育委員会 学校教育課 TEL.0254-92-2561

Information 暮らしの情報

阿賀町役場

本 庁 〒959-4495
阿賀町津川580
TEL.0254-92-3111 (代表)

上川支所 〒959-4505
阿賀町豊川甲236
TEL.0254-95-2211 (代表)

鹿瀬支所 〒959-4392
阿賀町鹿瀬8931-1
TEL.0254-92-3330 (代表)

三川支所 〒959-4696
阿賀町白崎1182
TEL.0254-99-2311 (代表)

文化施設

※各公民館に図書室が併設されています。

■阿賀町公民館（本館）	阿賀町鹿瀬8985-1	TEL.0254-92-3334
■ふるさと交流川屋敷（阿賀町公民館津川分館）	阿賀町津川3501-1	TEL.0254-92-3750
■阿賀町郷土資料館（阿賀町公民館上川分館）	阿賀町両郷甲2200	TEL.0254-95-2253
■ふるさと学習館（阿賀町公民館三川分館）	阿賀町細越513	TEL.0254-99-2253
■阿賀町文化福祉会館	阿賀町津川2136	TEL.0254-92-4988

病院

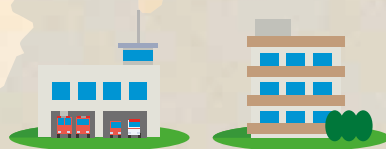
■新潟県立津川病院	阿賀町津川200 TEL.0254-92-3311
■鹿瀬診療所	阿賀町向鹿瀬1154 TEL.0254-92-2219
■上川診療所	阿賀町両郷甲2150 TEL.0254-95-2280
■町営診療所みかわ	阿賀町あが野南4324-2 TEL.0254-99-5111
その他、民間の内科・歯科等	

消防署

■阿賀町消防本部 TEL.0254-92-0119
■日出谷分遣所 ■上川分遣所 ■三川分遣所

警察署

■津川警察署 TEL.0254-92-0110
ほか6駐在所



阿賀町の文化財

会津と越後のはざまに位置し、平安時代より700年あまりにわたって会津に属していた東蒲原郡・阿賀町は、個性ある独特の歴史・文化を培ってきました。また、豊かな恵みをもたらしながら時に牙をむく大自然の風土は、東蒲原独自の風俗や習慣を育んできました。



公園・自然

緑豊かな阿賀町だからこそ
の施設が充実!! 思いつき
り自然を満喫できます。



麒麟山公園
阿賀町津川
TEL.0254-92-4766 (まちづくり観光課)



向ノ島公園
阿賀町豊川甲3758-5
TEL.0254-95-2211 (上川支所)



中ノ沢溪谷森林公園
阿賀町中ノ沢1344-4
TEL.0254-99-3710 (中ノ沢溪谷森林公園管理組合)



赤崎山森林公園
阿賀町鹿瀬
TEL.0254-92-3330 (鹿瀬支所)



麒麟山いこいの森
阿賀町津川
TEL.0254-92-4766 (まちづくり観光課)



芦沢高原ハーバルパーク
阿賀町津川3915
TEL.0254-92-5522



たきがしら湿原
阿賀町七名乙3267-1
TEL.0254-92-5764 (農林課)



角神雪椿園
阿賀町鹿瀬
TEL.0254-92-3330 (鹿瀬支所)



ふれあいの森
阿賀町七名乙3254
TEL.0254-95-3550 (七福荘)



大尾不動滝
阿賀町七名
TEL.0254-92-4766 (まちづくり観光課)



角神湖畔青少年旅行村
阿賀町鹿瀬11540-1
TEL.0254-92-4186 (赤湯)

スポーツ施設



■三川・温泉スキー場
阿賀町川口2166 TEL.0254-99-3738

■県立津川漕艇場
阿賀町津川3100-7 TEL.0254-92-2771 (津川B & G海洋センター)

■鹿瀬スポーツパーク (グラウンド)
阿賀町向鹿瀬1947-16 TEL.0254-92-2771 (津川B & G海洋センター)

■B&G海洋センター

- 津川 (体育館、プール、テニスコート、艇庫)
阿賀町津川3913-10 TEL.0254-92-2771
- 上川 (体育館、プール、グラウンド)
阿賀町両郷甲3325-1 TEL.0254-95-2288
- 三川 (体育館、プール、グラウンド、テニスコート、艇庫)
阿賀町黒岩3469-2 TEL.0254-99-3671

現在、阿賀町では、国指定7、県指定10、町指定53の総計70件の文化財があります。 ●国指定文化財 ○県指定文化財

津川

- 木造伝間庵天倚像・木造伝俱生神坐像
- 木造地藏菩薩坐像
- 津川城跡
- キリン山の植物群落 (津川・鹿瀬地域)

鹿瀬

- 護徳寺観音堂
- 五十嵐家住宅
- 長楽寺観音堂

上川

- 室谷洞窟
- 小瀬ヶ沢洞窟
- 極楽寺の野中ザクラ
- 木造金剛力士立像
- 高德寺の鯉口
- 小出和紙
- 八坂神社社叢

三川

- 平等寺薬師堂
- 将軍杉

